

水稲・大豆の生育と管理

回 覧

令和8年10月号

宇佐市農政課/大分県北部振興局地域営農・水田活用第一班



●水稲の管理（米づくりの仕上げ）

◆ 収穫までの水管理

● 早期落水は品質低下の原因になります。

● 根の活力維持と登熟促進

⇒できるだけ収穫直前まで間断かん水を続け登熟向上に努めてください。

※台風の襲来が予想される場合

強風予想時は深水での止水、多雨予想時は落水をお願いします。

◎技術紹介_用水不足時の水管理

ひたひた水管理（飽水管理）

入水の目安：足跡に水が残る程度に乾いたら入水。

水量：水は田面にいき渡る程度。深く溜めない。

※広い水田の場合：分げつ期に溝切をしておくとうまく水が広がります。

足跡や溝の水が残る程度

圃場の足跡

◆ 適期収穫で品質向上

【収穫適期：青粳率15~20%】

● 高品質・良食味米生産には**適期収穫**が不可欠です。

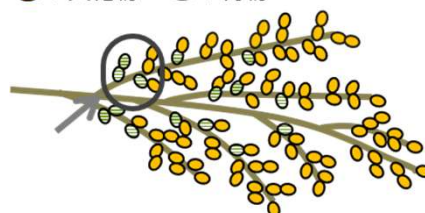
●：黄化粳 ●：青粳

早刈り：収量低下・未登熟粒や青米の増加

遅刈り：品質の低下（茶米、乳白米、胴割米）

● 収穫時期は①**青粳率**②**成熟期予想**等により

総合的に決定しましょう。



青粳率20%:下側2本の枝梗の根本から3粒程度に青粳が残っている状態

〈令和8年産ヒノヒカリの成熟期予測〉（令和8年9月3日現在）

院内	田植え日	6月5日	6月10日	6月15日	6月20日	6月25日
	成熟期予測	10月3日	10月5日	10月7日	10月10日	10月11日

旧宇佐	田植え日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日	7月5日
	成熟期予測	10月5日	10月7日	10月8日	10月10日	10月13日

〈令和8年産なつほのかの成熟期予測〉（令和8年9月3日現在）

院内	田植え日	6月5日	6月10日	6月15日	6月20日	6月25日
	成熟期予測	9月23日	9月27日	10月1日	10月5日	10月8日

旧宇佐	田植え日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日	7月5日
	成熟期予測	9月23日	9月27日	10月2日	10月5日	10月10日

※院内：アメダス院内（標高90m）の気象データによる予測

※宇佐：農林水産研究指導センター水田農業グループ（宇佐市北宇佐、標高30m）の観測データによる予測

※にこまるはヒノヒカリより+5日が目安

●大豆の管理

○病害虫防除(カメムシ)

◎カメムシ類の防除…発生が多い場合は追加防除の検討を！

カメムシ類による**吸汁被害は収穫期まで続きます！**

昨年、10月以降も高温が続き、カメムシ害が確認されました。

圃場を観察して、発生が多い場合は追加の防除を検討してください。

農薬名	使用量(10a) 希釈倍率/散布液量	使用時期 (使用回数)
スタークル液剤10	1,000倍/100～300 L	収穫7日前まで (2回以内)
キラップフロアブル	2,000倍/100～300 L	収穫7日前まで (2回以内)
トレボン粉剤DL	4kg	収穫14日前まで (2回以内)



カメムシ類

○収穫準備：圃場管理

◎雑草や青立ち株は抜き取りましょう

- ・ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、必ず収穫前に抜き取りましょう。
- ・コンバイン内で青立ち株や雑草の汁が大豆に付着し**汚損粒の原因**となります。

◎難防除雑草を増やさないために

～雑草の種子を圃場内に残さない！～

難防除雑草の蔓延が問題になっています。

○蔓延を防ぐポイント

- ・**雑草が開花、結実前に防除し**、種子を作らせないようにしましょう。

○圃場内で見つけたとき

- ・抜き取ったり刈り取った雑草は放置せず**ほ場の外に持ち出してください。**



ホオズキ類



アサガオ類



ノゲイトウ(ヒユ科)